

# 青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版39号



平成 24 年 2 月 18 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール [info@aoyamayamato.net](mailto:info@aoyamayamato.net)

★ブログでは主に県議会での活動について、フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。是非、そちらもご覧になってください。

## ～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在32歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会文教警察委員会委員、東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会委員、土浦消防団第27分団員(土浦市操法大会へ3度出場)。

## ●県議会文教警察委員会が始まる。

今年から県議会において、文教警察委員会の担当になりました。その名の通り、所管は教育と警察。茨城県議会では基本的に一年ごとに担当委員会を変える慣例があり、一期目の4年間は、環境商工、総務企画、保健福祉、土木。二期目の昨年は総務企画を担当し、文教警察は初めてとなります。

さて、今年度(平成23年度)教育予算は、約2521億円であり、茨城県予算総額の24.2%となります。但し、教育予算の92.8%(約2340億円)は人件費であります。残りの7.2%(約181億円)の内、学校等の耐震化などの投資的経費へ29億円かかるということは、いわゆる教育予算というのは、151億円ということになります。これは、茨城県全体予算の6%です。

茨城県の未来を担う子どもたちへの投資するための金額として果たして適当なのか、それとも多いのか少ないのか、そしてその用途について、是非、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

## ●交通事故死者数は減少も、全国的にみると依然としてその数は多い

交通事故による死者数は一番多かった平成13年度の344人から年々減少傾向にあり、平成22年度は205人、平成23年度は現在まで、169人となっています。(因みに平成13年は茨城県人口の一番のピークで、299万5583人。以降、年々人口は微減し、平成22年は297万9139人。因みに平成23年は東日本大震災以降激減し、これまで1万4440人減少。)

ただし、全国的にみると交通事故死者数(平成21年度はワースト6位、平成22年度は同3位)、人口10万人当たりの交通事故死者数(平成21年度はワースト3位、平成22年度は同4位)、そして飲酒運転による死者数も16人(全国ワースト3位)と、まだまだ交通事故防止策についてはしっかりと議論していなければいけません。

また、刑法犯の認知件数も平成14年度の6万7672件をピークに減少傾向(平成22年度は4万1312人)、検挙件数も増えておりますが、子どもや女性を狙った不審者情報や検挙件数が増えていることから、その安全対策にしっかりと取り組まねばなりません。

## ●編集後記

2月27日からの県議会に向け、新年度の予算編成案の作成が大詰めになっているところです。もちろん災害復旧・復興の経費が嵩んでくるのが当然ですが、これまで要望してきた内容がどのくらい予算措置、また提案してきた無駄削減の効果がどのくらい反映されているのかを見ていかねばなりません。

さて、話は変わりますが、懸案事項でした土浦市右糀地区のお地蔵さんの移転問題ですが、昨年末に県の許可が下り、先日、土台作りからお地蔵さんの引っ越しまで、全て地元の方々の手作り作業により移転が無事に完了しました。地区の方々に感謝の言葉を頂きましたが、この移転が無事にできた一番の要因は地元の方々の熱意、そして団結力です。私は県と市、両方にまたがる懸案事項について交通整理をただけです。今後も地域の懸案事項についても地域の皆様方と一緒に考えていきます。